

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
松本歯科大学	松本歯科大学歯学部奨学金	在学中	全学年	用途を定めない経済的支援	歯学部全学年対象(特待生を除く) (1)経済的理由により、専攻が難しく困難であると認められる者 (2)学業、人物ともに優れた健康である認められる者	貸与奨学金	年額60万円を上限とする	採用年度限り(1年間)のただし、毎年復申請可能(在学年数が6年を越えていない場合は不可)	年度ごとに決定	地域の制限なし	学事室	併用可	併用可			
	松本歯科大学歯学部学費特待生	その他	申請不選	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 その他	第1～第3学年の各学年において学業成績が上位で、人物が優れ、他の学生の模範となり得ると認められる者	給付奨学金 免除・減免	年額350万円(授業料減免に限り支給)	認定された年度の末日まで	各学年5人	地域の制限なし	学事室	併用可	併用可			
清泉女学院大学	ラファエラ・マリア スクラシップⅠ～Ⅲ(入学時選考型)タイプ2	学校出願時		特待生・成績優秀者 その他	奨学金(入学金相当額)を給付	指定された入試で成績・人物ともに優秀と判断される学生(エントリー制)	給付奨学金	入学金全額相当額(280,000円～350,000円)	入学後	18名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可		
	ラファエラ・マリア スクラシップⅡ(在学型)	在学中	在学生4月、新入生9月	その他	成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制) ●新入学生 入学生年度春学期の成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制) ●在学学生 前年度の成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制)	給付奨学金	100,000円	年間一度のみ	学期、科毎に5月1日現在の学生数により学年毎に、次のとおり定まる。 (1)100人以上の場合は、5名とする (2)50人以上100人未満の場合は、4名とする。 (3)10人以上50人未満の場合は、3名とする。 (4)10人未満の場合は、2名とする。	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可			
	緊急奨学金 その他	随時		学費支援 その他	学費支援	正たる学費支援者(不慮の事故等(大規模感染症の影響等含む)による家計の急変が生ずるほか何らかの原因により、経済的に学業を継続することが困難な状況に陥った学生)	給付奨学金	措置に定める事由につき、一人1年間に100万円、30万円または40万円とする。	一度のみ	若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
	被災等に伴う授業料等減免	随時		入学金・授業料減免 その他	学費支援	被災、大規模な感染症の発生等その他災害等による家計急変等によって経済的に専攻が困難な学生	免除・減免	家計基準と被災状況または家計急変の状況に応じて、授業料等全部・半額・1/4減額。	申請し、許可された期間	若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
	聖心待友修道会教育支援給付奨学金	在学中	7月・11月		学費支援 用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度	聖心待友修道会の主旨に合致する教育・諸活動の目的とすること	給付奨学金	支給上限額 30万円	一度のみ	若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
	食費奨学金	在学中	4月・9月		学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的に奨学金を必要と認められる学生。家計基準は、日本学生支援機構「貸与奨学金 第二種」に準ずる。	貸与奨学金	25万円(半額)	半期で一度のみ	若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
佐久大学	特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 その他	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的に奨学金を必要と認められる学生 協学の意欲を有しながら経済的理由により既学困難と認められる学生。家計基準は、日本学生支援機構「貸与奨学金 第二種」に準ずる。	貸与奨学金	50万円(半額)	半期で一度のみ	若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
	経済支援奨学生	在学中		用途を定めない経済的支援	詳細はお問い合わせください。	免除・減免					1年、ただし、各年度の学業成績により、必要であれば年度間継続して認定することがある。	基礎該当者若干名	地域の制限なし	入試広報課・教務課	併用可	併用可
	同窓生子女兄弟等学納金減免制度	入学後		入学金・授業料減免	本学園を卒業した者が入学する場合、本学園の在学学生に卒業した者の兄弟姉妹が入学する場合	免除・減免	入学金2万円を免除	入学時のみ			基礎該当者	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	入学免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	入学金免除制度の対象となる者は、本学の公募推薦入試(社会人1期入試)に合格し、かつ次の全てに該当する者を保護科学部・看護学部、各学部最上3名を選考する。 1. 経済的事情により修学が困難な者。 2. 出願した入試成績が上位の者。 3. 推薦見込の対象となる者は、過去9ヶ月以内に次のいずれかの事由により家計が急変し、支出が著しく増大又は収入が減少したことにより、学費納入・修学継続が困難となった学生(特待生を除く)。 ※1. 家計支援者が会社の倒産、解雇等により、失職、退職した場合。 ※2. 家計支援者が死亡または離別(離婚・失踪等)した場合。 ※3. 家計支援者が病気(長期)に罹患した場合。 ※4. 家計支援者が事故、病気等により、就労不能となった場合。 ※5. 火災、風水害、震災等の災害により直接的、間接的影響を受けた場合。	免除・減免	入学金(20万円)を免除					保護科学部3名、看護学部3名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
長野保健医療大学	家計急変者補助	随時		入学金・授業料減免	推薦見込の対象となる者は、過去9ヶ月以内に次のいずれかの事由により家計が急変し、支出が著しく増大又は収入が減少したことにより、学費納入・修学継続が困難となった学生(特待生を除く)。 ※1. 家計支援者が会社の倒産、解雇等により、失職、退職した場合。 ※2. 家計支援者が死亡または離別(離婚・失踪等)した場合。 ※3. 家計支援者が病気(長期)に罹患した場合。 ※4. 家計支援者が事故、病気等により、就労不能となった場合。 ※5. 火災、風水害、震災等の災害により直接的、間接的影響を受けた場合。	免除・減免	年間授業料の1/3(30万円)を免除	1)1年間 および1年度		若干名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可		
	特別奨学生S	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	保護科学部・看護学部の新入生より各学部1名、一般1期入試において推薦合格者が対象。 特別奨学生制度は日本学生支援機構奨学金等と併用可。	免除・減免	4年間の授業料(360万円)の免除。ただし、1・2年度は免除保証3年度以降は前年成績による。				地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
	特別奨学生A	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	保護科学部・看護学部の新入生より各学部最上3名、一般1期入試において推薦合格者が対象。 特別奨学生制度は日本学生支援機構奨学金等と併用可。	免除・減免	1年度授業料の1/3(30万円)を免除				地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
	進路別奨学生	入学後		入学金・授業料減免	保護科学部・看護学部の新入生より各学部最上3名。 特別奨学生S・Aの学生は出願できない。	免除・減免	1年度授業料のうち10万円を免除				地域の制限なし	学務課	併用可	併用可		
	特別奨学生B	在学中	1、2年生		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	保護科学部・看護学部前2・3年生の出願した学生のうち、学年で特に優秀な成績を収めた者を各学年1名を選考。 特別奨学生Bの適用は、在学中1回のみ。	免除・減免	新学期前期授業料の1/3(15万円)を免除			地域の制限なし	学務課	併用可	併用可		
	特待生	その他			特待生・成績優秀者	非公開	免除・減免	学費相当額を限度	非公開	非公開		地域の制限なし	非公開	併用可	併用可	
朝日大学	学業奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学部学科:法政学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 1 対象入試:一般入試 一般入試において総点の60%以上を取得した合格者 対象入試:大学院入学選考テスト利用入試 大学院入学共通テスト入試において総点の70%以上を取得した合格者 2 対象入試:推薦入試、特別選入入試、高大接続推薦入試(マーケティング) 出願時の高等学校における在学全体の学習成績の状況が3以上の者 対象入試:推薦入試、推薦入試 合格者全員 対象入試:一般入試 一般入試において総点の65%以上を取得した合格者 対象入試:大学院入学選考テスト利用入試 大学院入学共通テスト利用入試において総点の60%以上を取得した合格者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間			有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	スポーツ奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1 種 学業成績が良く人物良好な者または経済的支援を必要とする者で、本学が指定するスポーツ競技の全国大会もしくは都道府県大会等において優れた経歴実績をおさめた者、または所属クラブの運営に大きく貢献した者 2 種 学業成績が良く人物良好な者または経済的支援を必要とする者で、本学が指定するスポーツ競技の都道府県大会等において優れた経歴実績をおさめた者、または所属クラブの運営に貢献した者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間		有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可		
	収養奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学部学科:法政学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 対象入試:推薦入試、特別選入入試 収養奨励の大会において優れた成績をおさめた者で、入学後は本学収養奨励部に所属し、活動と学業を両立できる者	給付奨学金	年間34万円	最長4年間		有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可		
	会計奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学部学科:経営学部経営学科(入学後に「会計・ファイナンスコース」で学ぶ) 1 種 対象入試:高大接続推薦入試(会計) エントリーシート提出時に自動選択決定(総または全国経理教育協会簿記能力試験)に合格しており、出身高等学校長から推薦された者 2 種 対象入試:推薦入試、一般推薦入試、高大接続推薦入試(会計) 出願時にエントリーシート提出において、推薦見込の欄に合格しており、出身高等学校長から推薦された者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間		有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可		
	北海道・沖縄特別奨学生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	対象者:北海道・沖縄県に生活の基盤(父母と寄居を共にする等)があり、北海道・沖縄県の高等学校を卒業見込みの者又は卒業した者※(本学の入学試験に合格した者全員 ※卒業後北海道・沖縄県以外に所在する学校に進学した者は除きます。 対象学部学科:法政学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 対象入試:すべての入試(エントリーシート提出時に推薦見込の欄に合格した者) 対象学部学科:看護学部看護学科 対象入試:一般入試1期、大学院入学共通テスト利用入試1期 1 種 対象入試の合格者のうち成績上位の者5名 2 種 対象入試の合格者のうち1種の対象者5名を成績上位の者15名	給付奨学金	授業料の50%相当	最長4年間		有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可		
	看護学科特別奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学部学科:保健医療学部看護学科 保健医療学部看護学科に入学し、朝日大学病院に勤務を希望する者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間	(4)に記載のとおり		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可		
	学校法人朝日大学看護師奨学金	入学後			学費支援	対象学部学科:保健医療学部看護学科 保健医療学部看護学科に入学し、朝日大学病院に勤務を希望する者	貸与奨学金 その他	月5万円(4年間で最長240万円)	最長4年間 卒業後、朝日大学病院で採用期間(支払期間は3ヵ月間)を超過し、併用期間を全期間を全額免除することで奨学金の返還を免除	年度により異なる	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
	学費納入支援奨学金制度	在学中	1年生～4年生		学費支援	在学生の学費支援者で、学生納付金のために金融機関から借入れた学費相当額に対する支払利息の一部を奨学金として給付。	給付奨学金	学生納付金のために金融機関から借り入れた学費相当額に対する支払利息の一部を奨学金として給付	各年度申請による	有資格者全員	地域の制限なし	学事一課(学生生活支援室)	併用可	併用可		
	高度資格取得奨励奨学金	学校出願時			入学金・授業料減免	対象学部学科:経営学部経営学科(入学後に「会計・ファイナンスコース」で学ぶ) 対象入試:推薦入試、一般推薦入試、高大接続推薦入試(会計) 対象:高等学校で「商業」を履修していない者で、本学の経営学部学科の出願時に本奨学金の申請書を提出した者(※詳細は、専用ウェブサイトにて確認ください。)	給付奨学金	1年度: 授業料の100% 2年度以降は、前年度の学業成績等及び推薦見込決定の合格状況を審査のうえ決定します。	最長4年間		有資格者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	岐阜協立大学	岐阜協立大学大生満防回員修学支援奨学金	随時		その他	本学に在籍し大垣市内に居住している者で、市内の満防回員に在籍し活動している者	給付奨学金	活動実績のある月に対し、月額1万円	採用決定月から卒業までの活動料(支払期間は3ヵ月間)	10名程度	岐阜県	学生キャリア支援課	併用可	併用可		
スカラシップ奨学生制度		入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	全学可対象 一般選考及び大学院入学共通テスト利用選考の入試において成績上位の者 ※4年次まで学期毎に更新の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	一般選考または大学院入学共通テスト利用選考の成績により、半期の授業料をそれぞれ100%、70%、50%、30%減免	半期ごとの学費請求時に減免	区分や入学者数により異なる	地域の制限なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可			
指定校特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	経済学部・経営学部の学生対象 次の①または②のどちらかに該当する者 ①3年次定年の学業成績の自己申告(自己申告平均値)以上の者 ②高等中学校第1学期または前期までの全体の学業成績の状況の自己申告(自己申告平均値)が0以上の者で、本学が指定する資格を有する者 ※3年次までの学期毎に更新の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	授業料半額を減免	半期ごとの学費請求時に減免	入学者数により異なる	地域の制限なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可			
課外活動特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	全学可対象 対象者:当該クラブの指導者が競技実績等で特待生としてふさわしいと判断し、本学課外活動特待生選考で合格した者 ※4年次まで学期毎に更新の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	授業料100%減免+教育充実費100% 授業料50%減免 授業料25%減免	半期ごとの学費請求時に減免	区分や入学者数により異なる	地域の制限なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可			
岐阜協立大学看護学部奨学金制度		在学中	2年次、3年次、4年次		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	看護学部学生(2～4年次) ○年間授業料相当額 対象者:学業成績優秀者1名 ○年間授業料4分の1相当額 対象者:学業成績優秀者4名	給付奨学金	学業成績優秀者1名、年間授業料相当額 学業成績優秀者4名:年間授業料4分の1相当額	半期ごとに2回に分けて1年分支給	各学年 最優秀者1名、優秀者4名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用不可		
卒業生の子弟等入学者奨学金制度		入学手続時			入学金・授業料減免	入学料相当額 下記に該当し、所定期間中に申請のあった者について入学料相当額を返還 ○岐阜協立大学または大垣女子短期大学に入学または卒業した者の2親等以内の親族が、本学の学部に入学者とき ○岐阜協立大学または大垣女子短期大学に入学または卒業した者の2親等以内の親族が、本学の学部に入学者とき	免除・減免	入学料相当額	1回限り		人数制なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
岐阜協立大学奨学金		在学中			学費支援	学部学生 ○前年度次の授業料相当額の半額を給付 成績・人物ともに良好であり、経済的理由により修学困難と認められた者 ①指定校推薦入学者選考において、高等学校の成績優秀者または有資格者の基準を満たした者。 ②学校推薦型選考後進学方式において、経済学部経営学部は小論文試験の成績上位者、看護学部は小論文試験の成績上位者または本学が指定する外部検定試験の基準に達している者。 ③総合選抜自己推薦方式において、本学が指定する外部検定試験の基準に基づき①以上達している者。 ④一般選考の成績上位者。 ⑤大学院入学共通テスト利用選考の成績上位者。	給付奨学金	授業料相当額の半額	半期ごと2回に分けて1年分支給	若干名	地域の制限なし	学生キャリア支援課	併用不可	条件有り併用可		
岐阜協立大学特別奨学生制度		学校出願時			特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	本学学部に入学者私立外国人留学生で、学業・人物ともに優れた、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	20万円または30万円(資格取得状況により異なる)	入学年次の1月		1)経済学部・経営学部、各学科5名 2)看護学部:成績上位者は5名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
私費外国人留学生奨学金		入学後			学費支援 用途を定めない経済的支援	標準取得単位数(各期終了時の累積) 1年次…前期:12 後期:31 2年次…前期:44 後期:62 3年次…前期:78 後期:93 4年次…前期:107 後期:124 GPA(各期終了時の累積) 2年次…前期:2.5 後期:2.5 3年次…前期:2.5 後期:2.5 4年次…前期:2.5 後期:2.5	給付奨学金	入学年次:前期 40,000 円 2年次以降:半期 120,000 円	半期に1回 前期9月月末、後期3月末	1)人数制なし	地域の制限なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
岐阜女子大学	特別奨学金制度【学種別選抜型選抜・公募制対象】	学校出願時		入学金・授業料減免	全学部の学級委員長選抜合格者で申請書類提出者 経済状況と成績の条件を満たす者	給付奨学金 年額40万円	給付奨学金 年額40万円	入学時1回のみ	0名	地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	特別奨学金制度【在学生対象】	在学中	1年生～4年生	学費支援	1年～4年生の全学部学生対象 経済状況と成績の条件を満たす学生	給付奨学金 年額40万円	給付奨学金 年額40万円	1年間(毎年選抜)	年間40名	地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	通識教育特別奨学金	在学中	1年生～4年生	その他	専修教員の一部を給付	給付奨学金 2万円/回	給付奨学金 2万円/回	年2回	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	特別入学金制度	入学後		学費支援	以下の圏内遠隔地から本校(岐阜市)に入学した全学生 対象遠隔地 北海道全域・佐渡島(新潟県)・対馬(長門県)・鹿児島県の島嶼部・沖縄県全域	給付奨学金 入学金の半額	給付奨学金 入学金の半額	1年生1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	災害被災学生及び入学生の見学金	随時		被災者資金支援	全学部・全学年原則として災害被災者が適用される地域を対象	免除・減免	免除・減免	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
沖縄教育基金	在学中	1年生～4年生	学費支援	沖縄県出身の高校生が、岐阜女子大学(太郎山キャンパス)に入学した場合に適用。	給付奨学金 ①入学時一律20万円 ②2～4年生に各々4～10万円	給付奨学金 ①入学時一律20万円 ②2～4年生に各々4～10万円	1年1回	人数制限なし	沖縄県	総務部	併用可	併用可		
同窓会の子どもの奨学金	入学後		入学金・授業料減免		岐阜女子大学同窓会員の子弟またはその実親縁が本学に入学した場合。	免除・減免	10万円/年	1～4年 ※各学年分について重複しての給付は行わない。	人数制限なし	地域の制限なし	同窓会	併用可	併用可	
中京学院大学	特待生選抜テスト	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	模擬テストで成績優秀な方に授業料等の減免を行う特待生制度です。 特待生の権利を取得された方は、その年度の入試区分を特待生で受験できます。 (適用されない入試区分もあります。 入学後、4年間の授業料が免除されます。(毎年審査あり)	免除・減免	①学費50万円免除 ②学費30万円免除 ③入学金の半額免除	毎年審査があります。	制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
東海学院大学	スポーツ奨学金制度	学校出願時		学費支援 課外活動支援制度	対象・学年・入学時から直前4年間 学部・全学部 資格・条件 スポーツ推薦入試において、合格候補者とした者の中から、入試委員会において選考した者。 ①クラブ、国際的競技会に代表として出場した者、あるいは全国インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場しベスト8までに入った者 ②クラブ、国際大会・大会で団体戦大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ③クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ④クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑤クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑥クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑦クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑧クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑨クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者 ⑩クラブ、国際大会・大会で個人戦大会などの全国大会、あるいは個人戦に出場した者	免除・減免	①授業料及び教育充実費相当額を免除 ②授業料相当額を免除 ③授業料相当額の半額を免除 ④授業料相当額の半額を免除 ⑤授業料から年間5万円を免除	入学時から原則1年間、ただし、選考、あるいはスポーツ推薦等による選抜による選抜は、スポーツ推薦生誕生以降は、スポーツ推薦生誕生以降の選抜を停止し、停止する。	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可		
	学費減免制度	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免	対象・学年・入学時から直前4年間 学部・全学部 資格・条件 社会人入試、外国人留学生入試において合格候補者とした者の中から、入試委員会において選考した者。	免除・減免	社会人入試による合格者 ①授業料の半額を免除 外国人留学生入試による合格者 ②入学金の半額および③授業料の半額を免除	①4年間 ②1回限り ③4年間		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 ファミリー入試において合格した者。	免除・減免	入学金を全額免除	1回限り	若干名	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 ①または②に該当する者。 ①指定推薦入試に合格した者で、高等学校在籍時の成績が一定以上の者について、入試委員会において、選考した者。3年次及び4年次の奨学生の適用については、審査により決定する。 ②特別奨学生入試において優秀な成績で合格した者。	免除・減免	①特別奨学生A 授業料の全額を免除 ②特別奨学生B 授業料の半額を免除 ③入学金相当額を免除	①2回限り ②2回限り ③1回限り		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	特別優遇奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 ①または②に該当する者。 ①指定推薦入試に合格した者で、高等学校在籍時の成績が一定以上の者について、入試委員会において、選考した者。3年次及び4年次の奨学生の適用については、審査により決定する。 ②特別奨学生入試において優秀な成績で合格した者。	免除・減免	授業料から年額40万円を免除	原則として2年間を免除する。3年次および4年次に於ける奨学生については、入学後の成績により審査の上、決定する。		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	進学をあらゆるい奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 指定推薦入試、特別奨学生入試、一般選抜、大学入学共通テスト利用入試及び大学入学共通テスト利用プラス入試で合格した者の中から、申請書提出した者について、委員会において選考した者。 条件・経済的理由(本学が定める経済的理由な基準に該当する者)により大学進学が困難な状況にある者で、高等学校を卒業した者または卒業見込みの者。(既定期定員内)以上により推薦決定の者で、高等学校、大学等卒業見込みの者を含む。	免除・減免	①入学金の全額および授業料の全額を免除 ②入学金の半額および授業料の半額を免除	①2年間 次年度以降の支給は、継続審査により決定する。	総務委員の5～10%	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	特待生選考試験	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 指定推薦入試に合格した者で、入試委員会において、試験の成績について選考した者。 本学が特待生選考試験の受験対象に指定する入試試験に合格し、第1次入学手続きを完了した上で、特待生選考試験に出席し、優秀な成績を収めた者。	免除・減免	①学費の全額相当額を免除 ②学費の半額相当額を免除 ③入学金の相当額を免除	①2回限り ②1回限り		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 指定推薦入試に合格した者で、入試委員会において、入試の成績について選考した者。 一般選抜、大学入学共通テスト利用入試、大学入学共通テスト利用プラス入試を受験し、優秀な成績を収めて合格した者。	免除・減免	①学費の全額相当額を免除 ②学費の半額相当額を免除 ③入学金相当額を免除	①2回限り ②1回限り ③1回限り		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	沖縄特別奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 沖縄に在住する通識生を除く高等学校に通学している高校生で卒業見込みの者	免除・減免	入学金の半額を免除する	1回限り		沖縄県	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	社会人及びお祝い奨学金	学校出願時		学費支援	対象・学年・入学時から直前4年間 学部・全学部 資格・条件 社会人入試、外国人留学生入試において合格した者で、入試委員会において選考した者。	免除・減免	①入学金の全額を免除および②授業料の半額を免除	①1回限り ②1回限り ③1回限り		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
中部学院大学	指定推薦入試特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	全学部・高等学校ごとに定める評定平均値を満たす者	免除・減免	授業料の全額、半額、入学金と※評定値により異なる	原則、卒業までの4年間(入学金は入学年、2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること)	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
英語検定特待特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 学費支援 課外活動支援制度	(A)取得者奨学金 入学時・実用英語検定2級以上(全英検1級)取得者またはそれに準ずる者 (B)取得者奨学金 入学後、英検2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者 (C)海外研修奨学金 入学時・実用英語検定2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者で、本学企画する海外研修に参加する場合	免除・減免	(A)取得者奨学金 子ども教育学科は授業料全額免除 人間福祉学部、健康福祉学部、看護学科、スポーツ健康科学科は授業料半額免除 (B)取得者奨学金 入学後、英検2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者 (C)海外研修奨学金 取得し、10万円の特別給付金を支給 (D)海外研修奨学金 海外研修の経費に生活費(上乗せ)を	特待生奨学金 原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること 併用可	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
厚生堂児童福祉奨学金プラス	学校出願時		学費支援	人間福祉学科、子ども教育学科・児童福祉施設入所児童及び子ども、特長、児童福祉分野で活動を行うことを目標としている者	給付奨学金 800,000円(厚生堂児童福祉奨学金300,000円+本学奨学金500,000円)	給付奨学金 800,000円(厚生堂児童福祉奨学金300,000円+本学奨学金500,000円)	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
課外活動特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学部・全学部 資格・条件 課外活動に在住する通識生を除く高等学校に通学している高校生で卒業見込みの者	免除・減免	減免額は、高校での活動実績、成績等を勘案して決定 ※ 学納金全額、授業料全額、入学金全額、授業料半額	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
学業優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	全学部・入学試験における成績優秀者・各入学試験において成績の上位者から選抜	免除・減免	授業料の全額、半額または入学金のいずれかを免除	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
専攻支援奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免	全学部・前年の父兄の合計収入が400万円未満と高等学校の成績(評定平均値3.0以上)、各入学試験の成績等を踏まえて選抜	免除・減免	授業料の半額	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
初田奨学金	学校出願時		学費支援	特長・履修・福祉関係の職に就業しようとする者・家計や成績等をふまえて選抜 対象学部 人間福祉学部人間福祉学科	給付奨学金 年間 100,000円	給付奨学金 年間 100,000円	1年間		地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
障がい学生奨学金	入学後		その他	障がいのため修学上特別な費用を負担する学生の支援	給付奨学金 20,000円～100,000円(年間) 障がい状況により決定する。	給付奨学金 20,000円～100,000円(年間) 障がい状況により決定する。	①1年間		地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
災害時支援奨学金	随時		被災者資金支援	全年学・全学部・災害等により学業の継続が難しくなった者	給付奨学金 当該年度の授業料の1/3に相当する額を被災の状況により決定する。	給付奨学金 当該年度の授業料の1/3に相当する額を被災の状況により決定する。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
授業料減免資金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	全年学・全学部・家計急変のため経済理由により修学の継続が困難な者	貸与奨学金 当該年度の半期学納金の範囲内	貸与奨学金 当該年度の半期学納金の範囲内			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
介護福祉士資格取得者特別奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免 その他	①介護福祉士資格取得者(取得見込み含む) ※資格取得見込みの者が、大学入学まで取得できなかった場合は対象外となります。 ②対象学部 人間福祉学部人間福祉学科	免除・減免	年額 授業料の半額	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可		
岐阜保健大学	特別奨学生入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 奨励支援	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A 入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	特別奨学生Aは入学金200,000円の免除に加え、授業料全額免除700,000円(年間) 特別奨学生Bは授業料半額免除350,000円(年間)	4年間 特待生も一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。 ※特別奨学生A・Bを合わせた人数です。	看護学部 看護学科 15名 健康学部 健康科学科 10名 健康福祉学部 10名 健康福祉学科 10名 健康福祉学科 10名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可	
	一般入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A 入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	授業料全額免除・年間70万円 授業料半額免除・年間30万円	原則、卒業までの4年間 ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	若干名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可	
	大学入学共通テスト利用入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A 入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	特別奨学生A 減免額10万円 特別奨学生B 減免額30万円	原則、卒業までの4年間 ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	若干名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可	
	在学生内奨学金制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	前年度(2年次の場合、1年次)の学業成績により、奨学生を決定します。	免除・減免	授業料の半額を免除	①1年間 ②2年間 ③3年間 ④4年間 ⑤5年間 ⑥6年間 ⑦7年間 ⑧8年間 ⑨9年間 ⑩10年間		地域の制限なし	学務課	併用可	併用不可	
	静岡理工科大学	授業料100万円給費奨学生【授業料サポート100】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入試成績により選抜。一般前期入、一般前期入共通テストプラス、前期共通テスト利用入、前期共通テスト利用Sにおいて成績上位者の者を採用。	免除・減免	年間100万円	最大4年間	30名以内	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可
授業料50万円給費奨学生【授業料サポート50】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入試成績により選抜。専門高校・総合学科給費奨学生推薦において成績優秀者30名以内、公募給費奨学生推薦において成績優秀者30名以内、前期共通テスト利用Aにおいて合格者の内、合計特待率55%以上の方、前期共通テスト利用Sにおいて合格者の内、合計特待率60%以上の方(※人数制限なし)	免除・減免	年間50万円	最大4年間			地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
入学金30万円給費奨学生【入学金サポート】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	専門高校・総合学科給費奨学生推薦において成績優秀者各10名以内の入学金金額(30万円)を免除	免除・減免	入学金全額(30万円)	入学時のみ			地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
入学支援金10万円給費奨学生【入学支援給費】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	前期共通テスト利用A及び前期共通テスト利用Sにおいて合格者の内、合計特待率55%以上の方(※人数制限なし)	免除・減免	入学金の一部(10万円)	入学時のみ			地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
静岡理工科大学緊急援助奨学金	随時		学費支援	次に掲げる条件全てを満たす者 ・家計急変により授業料の納付が困難と認められる学生で、標準修業年間で卒業できる見込みの者 ・独立行政法人日本学生支援機構の緊急修学奨学金または他奨学金を申請し、かつ、入学金を滞りなく支払っている学生 ・学業継続の意思が強く、かつ、入学金を支払っている学生	免除・減免	半期授業料全額	在学中1回を原則とする	各学期で7名まで	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可		
静岡理工科大学卒業生及び在学生の兄弟姉妹・子に対する給費型奨学金	入学後		入学金・授業料減免	次に掲げる条件のいずれかを満たす者 ・兄弟姉妹が本学に合格または在籍しており、新たに2人目以降の兄弟姉妹が入学して在籍している ・本学の卒業生または在校生の兄弟姉妹が本学に入学して在籍している	免除・減免	入学金全額(30万円)	1回のみ	人数に限りなし		地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
在学生選抜奨学金	在学中	2年生以上の者で、条件に当てはまる者を学校で選考する。(学生の申請不要)	特待生・成績優秀者	次に掲げる条件全てを満たす者 ・進級時の成績順位が、上位3%以内である者 ・人物の本学学生として信頼される者 ・本学に貢献しようとしている者 ・本学の規則に基づき給費型奨学金を受給していない者 ・本学の規則に基づき給費型奨学金を受給していない者	免除・減免	年間50万円	1年間とする。ただし、再度、奨学生として選考することを除かない。			地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
常葉大学	学業成績優秀奨学生	在学中	学部2～4年生	特待生・成績優秀者	学部2～4年生のうち、人物に優れた学業成績が特に顕著で、経済的支援を必要とする学生が対象です。	給付奨学金 年額30万円	給付奨学金 年額30万円	採用時の1年間、前期学納納入後に一括給付する	学部370名程度	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有り併用可	
	奨学生入試奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨学生入試による奨学生合格者。 奨学生A 全学部学科1～30名(合計91名)授業料1年間全額免除、審査を経て2～5年間継続。 奨学生B 学部学科4～30名(合計245名)授業料2年間半額免除、審査を経て2年間継続。	免除・減免	奨学生A 授業料全額免除。 奨学生B 授業料半額免除。	2年間、審査を経ての2年間継続。	奨学生A 全学部学科2～10名(合計97名) 奨学生B 全学部学科4～30名(合計245名)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	特別奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般入試前期日程または共通テスト利用入試前期日程の成績上位者、各30名	免除・減免	初年度納付(授業料)から20万円減免	入学時1回	人数に限りなし	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
強化指定クラブ活動奨学生	入学手続き時		入学金・授業料減免	スポーツ推薦入試等に入学を認められたもので、スポーツの分野で優れた成績を達成し、さらに高い目標に挑戦する者。	免除・減免	入学金・授業料・施設設備費の半額免除	入学後の4年間免除する。ただし、1年間の審査により免除を取り止めることもある。	①3年間を限度に入学金を免除する	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有り併用可		
静岡英和学院大学	共通テストスカラシップ	その他		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜の「大学入学共通テスト利用」、又は、「ハイブリッド型」の合格者が対象。大学入学共通テストの受験科目の内、3科目の合計得点400%以上の者(総合型選抜)または大学入学共通テストの受験科目の内、2科目の合計得点400%以上の者(総合型選抜)。 (※選抜科目・科目・大学入学共通テスト受験科目・科目のうちから英語以外の科目)	免除・減免	(総合型)入学時、授業料の全額(44万円) (選抜型)入学時、授業料の半額(22万円)	1年次	制限なし	地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(3)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
愛知学院大学	新入生特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生特待生制度 ・対象学年：1年度、条件を満たすことで2年度以降も給付対象 ・対象学部：全学部 ・条件：共通テスト/利用試験1期において、成績優秀者に対し、入学金、授業料等を減免。なお、対象試験の得点率が70%以上という条件あり。	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額15万円以上(※学部により異なる) 2年度以降 30万円給付		2年度以降は成績などの条件を満たす必要あり	268名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有りて併用可	
	新入生応応奨学金	入学手続時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	50万円		入学時1回限り	20名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りて併用可	
	応応奨学金	随時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	50万円		在学期間中1回のみ	10名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りて併用可	
	開学50周年記念奨学金	その他	4～7月	学費支援	成績優秀で経済的理由により進学が困難な者 当期の学納金を完納していることが条件 採用回数(修業年間の1/2を超えない事)	免除・減免	30万円			28名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りて併用可	
	特待生奨学金	その他	毎年度本学にて選考		特待生・成績優秀者	対象学年：2年生以上 対象学部：全学部 対象専攻：前年度の履修単位数が32以上(文学部・健康科学部、心身科学部4年生は26以上)。(※学部・専攻部を除くで、学業成績がGPA3.0以上(※学部・専攻部はGPA以上を要))	給付奨学金	30万円	1年		各専科、在籍学生数140名未満は、10名以上22名、20名以上は3名、30名以上は4名(ただし、薬学部・歯学部は各専攻2名)、GPA3.6以上あれば、規定数に追加される。	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りて併用可
	外国人留学生特待生奨学金	その他	本学にて選考		特待生・成績優秀者	対象学年：2年生以上 対象学部：全学部 資格：外国人留学生。前年度の履修単位数が32以上(※学部は除く)で学業成績が優秀(GPA3.0を基準)。特待生に選考された者は除く。	給付奨学金	30万円	1年	各専攻1名		地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りて併用可
	グローバル特待生制度	入学手続時			特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学年：入学時 対象学部：文学部 選考基準(条件)：公募制推薦入試A・Bの合格者で下記選考・検定のいずれかのいずれかの基準を満たしているもの。 英検 2.304(準一級) / TOEIC 750 / TOEFL iBT 37 / QTCE CBT 1,080 / IELTS 4.5 / TEAP 280	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額128万円		2年度以降は条件を満たせば年額30万円給付	3名	地域の制限なし	入試センター・入試広報課	併用可	条件有りて併用可
美術部くまの奨学金	その他		申請形式ではなく、専攻部にて入試(前期試験)を利用した学生の成績順にて選考する。	その他	1年度入学金、美術教育充実費及び授業料全額給付。さらにスーパークレシレンスに該当した学生は、2年度から6年度までの授業料半額給付する。エッセイ・ポートフォリオに該当した学生は、2年度以降に前年度の成績がその学年の上位10%以内の学生は、留学奨学金と同額の奨学金を支給。合計710万円。	給付奨学金		最大6年間	①1名 ②6名	地域の制限なし	美術部事務室	併用可	併用可		
愛知学院大学	学力優秀者減免制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般選抜(前期)入試の成績上位者 ②大学入学共通テスト利用(前期)入試の成績上位者 ③2年度以降は学業成績が上位30%以内であること	免除・減免	①入学金全額(250,000円)・授業料半額減免(185,000円) 合計435,000円 ②授業料半額減免(185,000円)			①19名程度 ②専攻1名 ③専攻1名	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	県外出身者特別支援	入学手続時		用途を定めない経済的支援	愛知県外から入学される方を支援(学校推薦型入試[指定校型]で入学する場合)	給付奨学金	10万円を給付				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	同窓生子女等特別免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免	愛知学院大学・愛知学院短期大学在籍者または卒業した者の2級等内の親族(子女、孫、兄弟姉妹、双子)。	免除・減免	入学金全額(250,000円)				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	社会人減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	社会人入試にて合格した者	免除・減免	入学金半額免除(正課入学金250,000円より半額 125,000円)				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
愛知工業大学	選抜奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般入試前期日程A方式において成績上位者の中から選抜する者	給付奨学金	授業料相当額の50%		4年間※継続審査有		地域の制限なし	八重キャンパス学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	成績優秀奨学生	在学中	2～4年度	特待生・成績優秀者	在学中で各学部・各専攻・各専科・各専攻において前年度までの学業成績及び人物評価等が総合的に上位の者	給付奨学金	年額60万円		1年間	42名 各専科・各専攻(1年度を除く)・各専科・専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	顕著者奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	在学中で前年度までの学業成績が優秀な者	給付奨学金	年額5万円		①1年間 ②1回限り	42名 各専科・各専攻(1年度を除く)・各専科・専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	後援すまの奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	1年～4年生 就学の間にあるにもかかわらず、家計支持者の死亡、火災・風水害等の被害のため家計が著しく悪化し、学費負担が困難であると認められる者	給付奨学金	原則として一人につき30万円以内		原則、在学期間を通してのみ	人数制限なし	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可	
	入学奨励金	入学後		入学金・授業料減免	1年生 祖父母、父母、兄弟姉妹が本学の卒業生 奨励金が本学の在籍学生	給付奨学金	納入した入学金の半額		①1年間 ②1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可	
	愛知学院大学学費補助奨励給付奨学金	その他	学部からの推薦による		特待生・成績優秀者	学部3年生および4年生で特に学業成績が優秀な者。学部からの推薦により奨励金を決定。2年度連続で支給することも可能。	給付奨学金	年額10万円		1年1回	各専科・専攻ごとに異なる(2～4名)	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可
	愛知学院大学学費補助特別給付奨学金1(緊急支援)	在学中	1～4年		学費支援	学生に、主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事柄に限る)により、経済的に就学が困難な者。修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年額50万円		在学中同専攻に対し1回	若千名	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金1(災害支援)	在学中	1～4年		学費支援	学級生 正念家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事柄に限る)により、経済的に就学が困難な者。修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年額20万円		在学中同専攻に対し1回	若千名	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可	
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援) 建教支援	在学中		交換留学生	留学費用支援制度	交換留学する留学生の成績優秀者で交換留学生として海外交流協定校に留学する者。	給付奨学金	甲：15万円 乙：10万円 ※留学先により支援額が異なる。甲乙内の区分は日本学生支援機構・海外留学支援制度の地域区分に準ずる。	建教時に1回	交換留学生全員		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援) 留學支援	在学中		交換留学生	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	交換留学する留学生の成績優秀者で交換留学生として海外交流協定校に留学する者。	給付奨学金	甲：30万円 乙：20万円 丙：10万円 (半年間の場合)甲：15万円 丙：5万円 ※留学先により支給額が異なる。甲乙丙の区分は日本学生支援機構・海外留学支援制度の地域区分に準ずる。	建教時に1回	若千名		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
愛知学院大学同窓会修学奨学金	在学中	4年		特待生・成績優秀者	学部の正課課程に在籍する4年生で学業成績優秀な者。 GPA条件あり。申請年度の月に卒業要項の者。 特待生に学業成績も申請可。同専攻に入学すること。	給付奨学金	年額10万円		1年1回	2～4名(学科専攻により異なる)	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可	
金城学院大学	金城サポート奨学金	在学中	2年度以降は各専科での学業成績が上位40%以内であれば継続給付	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付対象：合計200名 ①一般入試(前期)1～3科目合格者の内、成績上位者100名※1 ※1は科目別合計点の90%以上(総合型選抜型入試では総合型選抜型入試の90%以上の者)【3科目目】得点率80%以上 ②センター試験利用入試(前期)合格者の内、成績上位者100名※2 ※2 得点率80%以上 *入学金、実務実習費、諸金費については、規定通り給付が必要です。	給付奨学金	全学科、年間学費が50万円になる。※入学金、実務実習費、諸金費については、規定通り給付が必要。	修業年間で1年度に見直し。		一般入試(前期)100名、センター試験利用入試(前期)100名の計200名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可	
	金城学院大学貸与奨学金	その他	卒業年度生	学費支援	修業年以内に卒業の要する本学卒業年度で経済的に修学困難な学生	貸与奨学金	学納金範囲内で貸与(無利子)		1年間	若千名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	金城学院緊急時貸与奨学金	在学中	突発的な事情が生じた時	学費支援	突発的な事情によって経済的に修学が難しくなった学生	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付		1年間	若千名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	金城学院みどり野舎奨学金	在学中	突発的な経済的事情が生じた時	学費支援	突発的な経済的事情で修学が難しくなった学生	給付奨学金 貸与奨学金	給付奨学金は、金城学院緊急時奨学金受給者に対し、施設設備費範囲内で支給 学納金抽出範囲内で貸与(無利子)		1年間	若千名	地域の制限なし	みどり野舎	併用可	併用可	
	金城学院大学入居会奨学金	在学中	対象者に大学より給付	学費支援	金城学院大学貸与奨学金受給者のうち、学業優秀な学生3名まで対象。	給付奨学金	年額14万円(4万円の奨学金を給付(貸与奨学金の内、貸与金額以内))		在学中に一度のみ(卒業年度生対象)	3名まで		地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可
	金城学院大学科学部給付奨学金	その他	経済的に修学が難しくなった時	学費支援	経済的に修学が難しくなり、留費金給付の学費ローンを利用する学生	給付奨学金	学費ローンの科別の奨学金を給付		半年または1年	各年度の学納金に50名以内		地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可
	金城学院システム奨学金	在学中		学費支援	学カ・人物ともに優秀なキリスト教又は来道者の学生	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付					地域の制限なし	キリスト教センター	併用可	併用可
	金城学院大学海外留学支援奨学金	在学中	海外留学時	留学費用支援制度	留学先(文法・派遣・滞在)に認定された者	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	短大文芸部芸術学奨学金	その他	海外留学時	留学費用支援制度	所定基準を満たした海外留学をする本学生	給付奨学金	20万円の奨学金を給付					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	短大エエ予学奨学金	在学中	海外留学時	留学費用支援制度	所定基準を満たした海外留学をする本学生	給付奨学金	奨学金を給付する制度					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	福山学園大学貸与奨学金	在学中	1～4年		学費支援	全学部全学年、経済的な理由で修学困難な者。	給付奨学金	1年間の授業料、教育充実費、学部教員費の合計額を限度		半年	若千名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	福山学園大学同窓会奨学金	在学中	1年生		学費支援	全学部1年、経済的な理由で修学困難な者。	給付奨学金	年額30万円		1年	2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	福山学園同窓会奨学金	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	全学部2年以上の学生で学カ・人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年額20万円		1年	5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学校法人福山学園同窓会奨励金	入学後			学費支援	学部1年で、同窓会特別推薦入試により入学した者。	給付奨学金	年額10万円		1年	5名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
福山学園大学看護学部奨学金A	在学中	1年生～4年生		特待生・成績優秀者	看護学部の学生で、一般入試の成績が優秀である者。給付期間は最長4年。2年度以降も継続して給付を受けるためには、前年度の学校成績が看護学部内(上級)で上位20%以内。	給付奨学金	年額60万円		1年	各専攻6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学看護学部奨学金B	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	看護学部2～4年、前年度の学業成績が優秀である者。	給付奨学金	年額30万円		1年	各専攻6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学石岡奨学金	在学中	4年生		学費支援	卒業見込み資格を取得した4年生で、経済的理由により修学の意思を有しない者による修学困難な者。	給付奨学金	年額40万円		1年	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学教育ローン給付奨学金	その他	前期7月、後期1月		その他	学費支援費の財政的負担軽減	給付奨学金	福山学園大学教育ローンの在学期間中の学納金50%または100%相当額		半年		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学奨励費【学費後援費】	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	全学部2～4年、前年度の成績優秀者	給付奨学金	10,000円		1年	各専攻・学カの上位5%		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
福山学園大学奨励費【特別活動奨励費】	在学中	1年生～4年生		課外活動支援制度	全学部全学年、原則として各専攻1名 前期までのGPAが3.0以上の者で、次の各号のいずれかが当該年度中に継続する学生。 ①成績優秀者 ②派遣留学 ③留学期間が6か月以上の留学 ④留学期間が6か月以上の学部と異なる大学の専攻による研修留学	給付奨学金	3万円		1年	7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学福会海外留学奨学金	在学中	1年生～4年生		留学費用支援制度		給付奨学金	年額10万円		7月	28名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
大同大学	大同大学一般貸与奨学生	在学中	1年生～4年生		学費支援	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要と認められる者で、日本学生支援機構又はその協賛団体の奨学金でない者。なお審査については、申請書類、成績等を参考にを行い、日本学生支援機構奨学金推薦基準を参照する。	貸与奨学金	月額3万円(無利子)を貸与。		採用時から最短期間	特になし	地域の制限なし	学生室	併用不可	併用不可
	大同大学緊急時貸与奨学生	その他	学納金延納期間中	学費支援	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要と認められる。学生納付金の返納が滞り続けている者で、かつ日本学生支援機構又は大同大学が協賛する貸与ローン制度に申し込みをしない者。学生納付金の負担軽減で給付できないこととなる場合がある。	貸与奨学金	授業料及び施設協力費の年額の2分の1相当額(無利子)を貸与。		在籍期間中1学期限り	特になし	地域の制限なし	学生室	併用不可	併用不可	
	大同大学学業奨励金	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	2年度以上の学部生で、学業、人物、健康ともに優れ、他の学生の模範とするに足る者。前年度の学業成績が各専科上位1割以内の学生を対象とする。	給付奨学金	【2019年度以前入学者】半年相当の奨学金カードを支給。 【2020年度以降入学者】10万円相当の奨学金カードを支給。	1年1回	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	大同大学入学時特別奨学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)方式入試試験、前期入試試験又は大学入学共通テストにおいて、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)入学時に健康であること	給付奨学金	年額の学生納付金の全額を給付。		入学年度から最短期間(原則1年、別途取消の要あり)	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	大同大学入学時特別奨学生<第二種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)方式入試試験、前期入試試験又は大学入試センター試験前期入試試験において、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)入学時に健康であること	給付奨学金	年額の学生納付金の60万円を給付。		入学年度から最短期間(原則1年、別途取消の要あり)	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	総合選抜・推薦入入学時特別奨学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)推薦選抜(前期)入試(前期)入試において、特に優秀な成績であること もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合選抜入試推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の全額を給付		入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	総合選抜・推薦入入学時特別奨学生<第二種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)高等学校在学中(3年・前期・前期)における資格取得が特に優秀な者 もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合選抜入試推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の半額を給付。		入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	入学時スポーツ特別奨学生<第一種>	学校出席時			用途を定めない経済的支援	1)高等学校におけるスポーツ競技が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	年額60万円を給付。		入学時から最短期間(原則1年、別途取消の要あり)		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	入学時スポーツ特別奨学生<第二種>	学校出席時			入学金・授業料減免	1)高等学校におけるスポーツ競技が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金を給付。		入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	大同大学在学学生スポーツ特別奨学生	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	2年度、3年度及び4年度に在学する学生で、学業、人物共に優れ、他の学生の模範となる者。前年度の学業成績が各専科上位の優秀な学生を審査によって採用する。	給付奨学金	【2019年度以前入学者】年額20万円を給付。 【2020年度以降入学者】年額10万円を給付。		1年1回		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
大同大学在学学生スポーツ特別奨学生	入学手続時			特待生・成績優秀者	入学後にスポーツ競技が特に優秀かつ学業に優れており、クラブの顧問及び監督に推薦され、人物に優れ、他の学生の模範となる者。	給付奨学金	年額20万円を給付。		採用年度から最短期間		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
至学館大学	至学館大学・至学館大学短期大学部奨学特待生<スポート奨学特待生>	その他	該当者に別次から案内するため、学生からの申請は不可	特待生・成績優秀者	本学の第2年度以上在籍する学生の中で、修学成績が旺盛で品行が良く、前年度までの成績による優待が、各学科・学年(第2年度以上)の入学定員の上位2% (編入予定定員を除く)に相当する成績までとします。	給付奨学金	授業料の1/4に相当する額	当該年度限り	各学科・学年(第2年度以上)の入学定員2% (編入予定定員を除く)	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	条件有り併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部奨学特待生<スポート奨学特待生>	その他	新入学生は出願後、在学中1月中旬	課外活動支援制度	スポーツ競技で県以上の成績を確めた者。また、指定クラブの部長の推薦を受けた者。	給付奨学金	入学金、年間の授業料及び教育充実費の相当額を上廻する額	当該年度限り	本学の範囲内	地域の制限なし	学務課 スポート振興部門	条件有り併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部教育ローン(利子補給奨学金(給付型))	在学中	1年次生～4年次生の毎年11月	学費支援	本学の指定教育ローンを利用し、学費を完結した学生。(留年学生を含む)	給付奨学金	申請年度に支払う料金の合計額(上限3万円)	当該年度限り	本学額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(給付型)	在学中	1年次生～4年次生の毎年10月	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的理由により家計が困難であり、日本学生支援機構奨学金、国の教育ローン及び学費が担うる団体の教育ローンのいずれかを利用している者。また、所定の成績基準及び家計の経済基準を満たした者。大學生、社会人入学生及び外国人入学生は除く。	給付奨学金	授業料相当額の4分の1	当該年度限り	本学額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(貸付型)	在学中	卒業年度の6月又は10月	学費支援	修学成績が旺盛であるが、家庭の経済事情の急変等により、修学の継続が困難になった者であり、卒業が見込まれている者。卒業年度生のみ。大學生、社会人入学生及び外国人入学生は除く。	貸付奨学金	年間の授業料及び教育充実費相当額を上廻する額	当該年度限り	本学額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(奨励金)	在学中	1年次～4年次生の毎年5月	奨励金 学費支援 課外活動支援制度 奨励金 その他	地域・社会貢献、起業支援	学芸、スポーツ、地域貢献等の様々な分野で、将来に向けて目標を明確にし、その夢の実現をめざしてチャレンジしようとする学生及びその団体。	給付奨学金	上限額200万円	奨励対象者あたり1回のみ	本学額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可
至学館大学・至学館大学短期大学部 教育後援委員会	随時		その他	その他	保護者(大先輩及び専攻科を除く)が至学館大学・至学館大学短期大学部教育後援委員会の委員であり、方がのご不幸があった場合。	給付奨学金	5万円			地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
就職実践・留学生就業支援	入学手續時		入学手續時	入学手續時	本学に在籍する留学生(出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第一に定める在留資格「留学」に該当する。)全員を対象とする。	免除・減免	授業料の2割	当該年度限り	本学額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
中部大学	中部大学長奨学金※2025年度に制度が一部変更されます。	在学中	2～4年	2～4年	特待生・成績優秀者	学部2年度以上、学業、人物ともに優れている者。 留学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額300,000円	1年	240名以内(各学年80名以内)	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学スポーツ・文化活動奨励奨学金	在学中	2～4年	2～4年	課外活動支援制度	学部2年度以上、スポーツ及び文化活動等で優れた成績をあげた者。 留学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円単位で学費相当額まで	1年	20名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学同窓会賞奨学金	在学中	2～4年	2～4年	特待生・成績優秀者	学部2年度以上、学業、人物ともに優れている者。 留年学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円	1年	200名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学賞奨学金	在学中	1年次学期～4年	1年次学期～4年	学費支援	学部1年次秋学期以降、成績が一定基準以上で、家計が急変し、学費の支弁が困難になった者。 本学の他の奨学金(教育振興賞奨学金を除く)に併用できない。外国人入学生は出願できません。	貸付奨学金	年額200,000円以上、100,000円単位で学費相当額まで	1年	毎年年度のほかに大学が定める	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学特別賞奨学金	在学中	3年～4年	3年～4年	用途を定めない経済的支援	学部3年度以上、本学大学院進学希望者で、当該学科において成績が上位1%以内の者。 中部大学特別賞学生は出願できません。	貸付奨学金	年額300,000円(本学大学院修士前期課程を完了し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の選定を免除)	1年	50名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学教育振興賞奨学金	在学中	4年生	4年生	用途を定めない経済的支援	学部4年度に在学しており、苦学を支援する意義等による緊急要請によって経済上学費支弁が困難となった、人物に優れた者。	貸付奨学金	年額300,000円(本学を修了し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の選定を免除)	1年	15名	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学特別奨学金	学校出願時		学校出願時	特待生・成績優秀者	「特別奨学生入試で選ばれた者」 入学生、各学年末の成績基準を満たした場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	入学料および学費(授業料、施設設備費、教育充実費)	最大4年間	約100人(許年度実績)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有り併用可
	中部大学同窓会リーダー育成 地域連携推進型若手育成奨励金	在学中	1年次学期～4年	1年次学期～4年	用途を定めない経済的支援	地域連携推進型に入社し、当該年度に一定回数以上の地域貢献活動を行った者。 ※中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金との併用は認めない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めがないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金	在学中	1年次学期～4年	1年次学期～4年	用途を定めない経済的支援	実家が遠方(※1)あり、親元を離れ、春日井市内に3ヶ月以上継続して一人暮らしをしている本学留学生 ※1:中部大学同窓会リーダー育成 地域連携推進型若手育成奨励金の併用は認めない。外国人入学生は出願できない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めがないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	中部大学海外留学・研修奨学金	在学中	1～4年	1～4年	留学者用支援制度	①海外派遣留学奨学金 対象学年: 全学年 学制: 全学期 資格: 専修 1. 経済力点でのGPAがA以上又は学制的成績順位が上位20%以内の者 2. 派遣先で派遣先大学が定める奨学金の選定が求められる者 3. 留学・研修プログラムと本学の国際交流行事に協力できる者 ②海外短期研修奨学金 対象学年: 全学年 学制: 全学期 資格: 専修 1. 経済力点でのGPAがB以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学プログラムと本学の国際交流行事に協力できる者 ③海外長期研修奨学金 対象学年: 全学年(1年次夏学期は対象外) 学制: 全学期 資格: 専修 1. 経済力点でのGPAがB以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学プログラムと本学の国際交流行事に協力できる者 ④海外長期研修奨学金 対象学年: 全学年(1年次夏学期は対象外) 学制: 全学期 資格: 専修 1. 本学の学部4年次から本学の大学院修士課程又は博士前期課程に進学する者 2. 奨学金点での成績が明記された卒業生であること 3. 研修参加、派遣先で派遣先大学が定める奨学金を受取る者 4. 研修参加後、本学の修士課程又は博士前期課程に在学する(奨励金支給を継続できる者) 5. 研修参加後、留学プログラムと本学の国際交流行事に協力できる者	給付奨学金	①海外派遣留学奨学金 月額6～8万円、日本学生支援機構の短期派遣奨学金地域基準に準拠。 1学期派遣金は4か月分、2学期派遣金は8か月分支給 ②海外短期研修奨学金 1参加奨励奨学金(1回につき10万円) 12特別奨励金(年額2万円を4か月分支給) ③海外長期研修奨学金 1回につき10万円 6名程度まで ④海外長期研修奨学金 1回につき20万円	③海外派遣留学奨学金→1限 ④海外短期研修奨学金 4月分8か月 2海外長期研修奨学金 ①参加奨励奨学金→1参加金 ②特別奨励金→4か月分 ③海外短期研修奨学金→1参加金 ④海外長期研修奨学金→1参加金 ⑤大学院進学希望短期研修奨学金→1参加金	地域の制限なし	国際連携課	併用可	併用可	
	中部大学選抜奨学金	学校出願時		学校出願時	特待生・成績優秀者	「新入生入試方式で選ばれた者」 入学生、各学年末の成績基準を満たした場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	1)入学料および学費(授業料、施設設備費、教育充実費) 2)2年度以降は前年度の授業料、施設設備費、教育充実費)から50万円を差し引いた額	最大4年間	新入生入試方式募集人員の1/3(約160人)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有り併用可
	東海学園大学	学力優秀奨学金(一般入試・共通テスト利用入試)	入学手續時	入学手續時	入学金・授業料免除	※1:いずれも科目数が対象 ※2:年次別は一定の成績を確めた者。	免除・減免	入学金(250,000円)及び14年間の授業料・教育運営費免除	4年間 ※1:併用し、年度末に次年度継続に向けての審査あり	成績優秀人数は年度ごと1名ずつ 90名以内	地域の制限なし	入試広報課及び学生支援課	併用可	条件有り併用可
学力優秀奨学金(公募推薦入試)	入学後	入学後	入学後	入学金・授業料免除	公募推薦入試(前期)合格者の上位者で人物・学力と認められた者。	免除・減免	入学金(250,000円)	1回限り	1回限り	新卒者	地域の制限なし	入試広報課及び学生支援課	併用可	併用可
スポーツ特別奨学金	入学手續時		入学手續時	入学金・授業料免除	アスリート推薦入試で選抜、指定競技種目(クラブ)の高級時代の活動(実績)を評価。	免除・減免	規定額(入学金及び授業料、教育運営費相当額など)	規模による	規模による	地域の制限なし	入試広報課及びスポーツ文化振興課	併用可	条件有り併用可	
東海学園大学卒業生奨学金	入学後		入学後	学費支援	東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)を卒業し、再度本学に入学する者。 出身学部以外の学部へ入学、編入する者。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園同窓会女子奨学金	入学後		入学後	学費支援	東海中学校・東海高校・東海学園高校(東海女子高校)・東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)卒業生の子女。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園同窓会女子奨学金(東海学園女子短期大学)校友奨学金	入学後		入学後	学費支援	東海学園短期大学部、東海学園女子短期大学の卒業生の子女。 ※東海学園同窓会女子奨学金と重複して支給が可能。	給付奨学金	100,000円	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
兄弟姉妹奨学金	その他		兄弟姉妹が同時に在学している場合	学費支援	資料を同一にする兄弟姉妹が本学に入学し、同時期に在学する場合、2人目の入学生。 または、同時に兄弟姉妹が入学する場合のいずれか1名。	給付奨学金	2人目入学金相当額(250,000円、入年度のみ) 1人目卒業まで、2人目授業料半額相当額(170,000円)	毎学期	申請者すべて(日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金を除く)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
学業優秀奨学金	在学中	2年生～4年生	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	各学科各学年(1年生を除く) 前年度までの成績と前年度より、選考委員会が推薦(若手名)	給付奨学金	120,000円	年度内で1回	若手名(各学科学年人数の15%以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
特別奨学金	その他		(3)における該当者がいる場合に推薦により申請	課外活動支援制度	在学中に、学術・文化・スポーツなどにおいて、全国・国際レベルで顕著な成績をあげた者、受賞した者。	給付奨学金	業績に相当する奨学金を支給	1回限り	該当者がいる場合	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
留学プログラム奨学金	在学中	1～4年生	1～4年生	留学者用支援制度	本学留学プログラム等に参加し、修了し、一定の成績を確めた者。	給付奨学金	長期留学: 30万円 短期留学: 各学期10名程度に10万円支給 ※英語検定試験の結果により、別途奨学金加算	留学につき1回	留学プログラムを修了し一定の成績を確めた者	地域の制限なし	国際交流委員会	併用可	併用可	
利子補給奨学金	在学中	1～4年生	1～4年生	学費支援	経済的理由により本学に返済する義務の「学費サポートプラン」を利用。 該当者(申請者)を学内選考。	給付奨学金	当該年度分の利子相当額以内	年度内で1回	「学費サポートプラン」利用者のうち申請し学内選考を通過した者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園大学教育後援会賞奨学金	在学中	1～4年生	1～4年生	学費支援	在学中に、学費支弁の補助が必要と認められる学生で、人物・学業共に優れた、修学継続の意欲がある者。 保護者が教育後援会委員であること。	給付奨学金	1種: 10万円 2種: 申請年度の授業料相当額の3分の1	年度内で1回	1種: 40名程度 2種: 10名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
名古屋音楽大学	入学時特待生	学校出願時	学校出願時	特待生・成績優秀者	特待生試験成績優秀者	給付奨学金	特待生試験の結果に基づき、1年次の授業料の全額、半額、または4分の1の額を奨学金として支給	①1名 ②1名限り	非公表	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	特待生 制度	入学後		入学後	特待生・成績優秀者	入学時特待生制度(特待生試験)とは別に、在学中の成績に基づいて選考される特待生制度があります。 学業成績が特に優秀で、健全な生活を送る若手学生	給付奨学金	当該学期または年度の授業料相当額(全額、半額、または4分の1)の額が奨学金として支給されます。1年次秋学期(1期)から対象となります	非公表	地域の制限なし	事務部(教務)	併用可	併用可	
名古屋学院大学	名古屋学院大学奨学金	在学中	1年生～4年生	1年生～4年生	学費支援 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金
	名古屋学院大学緊急援助奨学金	在学中	1年生～4年生	1年生～4年生	学費支援	緊急援助 緊急援助	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金
	名古屋学院大学奨学金	入学手續時		入学手續時	学費支援	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金
	名古屋学院大学奨学金	在学中	1年生～4年生	1年生～4年生	学費支援 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金
	名古屋学院大学奨学金	在学中	1年生～4年生	1年生～4年生	学費支援 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金	奨励金 奨励金
学業成績優秀奨学金	在学中	2年生～4年生	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	前年度の学業成績に基づき選考を行い、学業成績優秀者として選考された学生	給付奨学金	年額15万円	1回/年	年額120名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	条件有り併用可	
名古屋経済大学	学業成績優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生 各学年度末	1年生～3年生 各学年度末	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除 その他	各学科・各学科1年次から3年次の学業成績優秀者(1名から3名)まで、GPA3.0以上の学生	免除・減免	1位20万円、2位10万円、3位5万円	年に一度、ただし対象にない場合は、翌年度以降も受けられる	45名	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	条件有り併用可
	学術・文化・スポーツ等優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生	1年生～3年生	課外活動支援制度	1～3年生のうち、学術・文化・スポーツに係る優れた実績を挙げた団体あるいは個人。	給付奨学金	1～50万円の範囲で、内容によって決まる。	一回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	資格取得・検定合格者奨学金	その他		資格取得・検定合格・申請時。	資格取得支援制度	在学中に指定する資格及び検定試験に合格した者	給付奨学金	それぞれの資格、取得額によって異なる	なし	なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可
	プラチナポイント I	在学中			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料免除	プラチナ奨学生選抜試験で高得点を収めて入学した者。 奨学生の待遇を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活科学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で60単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で90単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること ※人間生活科学部教育実践学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に40単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で74単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で106単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること (2)教育・研究者になる意思が堅固であり、教員免許状及び保育士資格取得に必要な授業を履修学年中で履修していること	免除・減免	4年間の学納金のうち約1,124万円。ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可
プラチナポイント II	在学中			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料免除	プラチナ奨学生選抜試験で高得点を収めて入学した者。 奨学生の待遇を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活科学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で60単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で90単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること (2)教育・研究者になる意思が堅固であり、教員免許状及び保育士資格取得に必要な授業を履修学年中で履修していること	免除・減免	4年間の学納金のうち約1,120万円。ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可	
入学金特別交付・遠隔地特別入金金交付 その他	入学後			入学金・授業料免除 その他	入学金特別交付(卒業生の子弟)名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部卒業生の子、兄弟・姉妹、在学生の兄弟・姉妹、及び移住中の中学・高校の卒業生の子。 遠隔地特別入金金交付: 本学が指定する地域に生活基盤(父母と世帯をともにする者)があり、指定地域の高校を2022年3月卒業見込の者。または卒業した者。対象地域は、北海道、青森県、岩手県、宮城県 他21県。	その他	入学後の手続きにより入金金交付	入学後の申請1回限り	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可	
スポーツ推薦入学者特別制度	在学中	1年生～4年生	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料免除 課外活動支援制度	セレクション(選)と判断された方。競技能力により学費減免制度あり。なお、2年次以降の減免措置継続には、当該クラブ活動の参加状況が良好であること。以下の単位数を取得する等、一定の条件が必要。	免除・減免	競技能力により減免は異なる。	条件を満たせば継続される。	人数による制限はない。	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可	
企業支援基金制度	在学中	1年生～3年生	1年生～3年生	学費支援	1年次履修分から申請可能。 取得単位数、GPAなどその他の条件が決まっている。	免除・減免	授業料相当額免除	半期ごとに申請、在学中1回限り	人数制限はない	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用不可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
名古屋商科大学	創立者奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学園の創立者である栗本社一先生の意志を引き継ぐべく開拓者精神のもと、口喧嘩からの学修に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の模範となる学生に奨学金を支給します。 【期間】 前回の定期試験における学修成績の平均ポイントが3.80以上で、かつ前期の出席率が95%以上であること。 【資格】 ①前学期の履修単位が18単位(4年次前期14単位)以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、教職科目、留学に関連して認定される科目、履修計画がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含めません)。 ②2学期中に、本学以外の一般奨学金を受けていないこと。ただし、国際奨学金学生に限定しない。 ③3年生として認定された学期の学納金が本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	100,000円(半年額)	6ヶ月	各学年定員6名	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	国際寮奨学金	その他	入学手続き時、在学中随時	滞制度	本学が実施する入学試験を受験、入学し、成績・人物ともに優秀な者で、本学が保有する国際寮へ入室する方、2年次以降は各年度終了時点における学履修および出席率の基準を満たしていることと受給継続。	給付奨学金	給費額は各国際寮のタイプによって異なり、月額40,000円から10,000円。成績、人物ともに優秀な学生で本学の国際寮に入居する者に限りです。	年度毎に給費査定を行います。該当年度において給費滞りとなっている場合、給費滞りの変更または給費を停止します。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用可	
	学修奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	本学を奨励し入学した者で、成績・人物ともに優秀な者。 3年次および4年次の支給にあたっては、次の条件を全て満たしていること。 ①年度および前年度の学修成績(前年度の平均ポイント)の平均が2.60以上であること。 ①1年次と2年次履修の平均出席率が95%以上であること。 ②1年次と2年次履修の履修単位数が18単位以上であること。 ③2年次各学期の登録単位数が18単位以上であること。 ④(注)当該学期の授業期間中に留学奨励奨学金の支給を受け、国際交流プログラムに参加していること。	給付奨学金	第一種 年額 90万円 第二種 年額 60万円 第三種 年額 30万円	標準修業年限の4年間	20名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	学長奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学生の学修に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の模範となる学生に奨学金を支給します。 【期間】 当該支給学期の前学期における学修成績の平均ポイントが3.80以上3.80未満で、かつ前期の出席率が95%以上であること。 【資格】 ①前学期の履修単位が18単位(4年次前期14単位)以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、教職科目、留学に関連して認定される科目、履修計画がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含めません)。 ②2学期中に、本学以外の一般奨学金を受けていないこと。ただし、国際奨学金学生に限定しない。 ③3年生として認定された学期の学納金が本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	50,000円(半年額)	6ヶ月間		地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	同窓会奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 本学会からの奨学金をもとに学修成績ひらびに継続的に課外活動を行う優れた学生の育成を目的として、文芸演劇を奨励した学生12名以内の奨励奨学金を支給します。 【期間】 前年度の学修成績の平均ポイントが2.80以上で、かつ前年度の出席率が95%以上であること。 【資格】 2年次以上で、体育会もしくは文化系のクラブに所属し、継続的に活動していること。 【奨励】 12名以内	給付奨学金	年額100,000円以内を給付		2名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用不可	
	Global Field Study Program (A & B & C)奨学金	在学中	2年生～3年生 Program C(アジア圏)のみ4年生も対象	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	①(広く世界を旅し、異文化を広げることをグローバル化時代の重要な学びの一つとして位置づけ、同様の二人一組で旅して、その経験で自主的行動に取り組む。) ・ Program A(世界一周) 【内容】 海外研修中に大学と提携した観光計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的行動を行なうが、アジア圏を限定して世界を一周する。 【期間】 1月～12月(内、約90日間) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ①各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ②入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験 ・ Program B(北米一周) 【内容】 海外研修中に大学と提携した観光計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的行動を行なうが、北米を限定する。 【期間】 1月～12月(内、約90日間) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ①各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ②入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験 ・ Program C(アジア圏) 【内容】 海外研修中に大学と提携した観光計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的行動を行なうが、アジア圏を限定する。 【期間】 6月～8月上旬(内、約65日間) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ①各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ②入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	・ Program A(世界一周) 往復航空運賃、入念ならびに船、鉄道に係る現地交通費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約600,000円 ・ Program B(北米一周) 往復航空運賃、入念費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約500,000円 ・ Program C(アジア圏) 往復航空運賃、バスや鉄道に係る現地交通費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約450,000円	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	ギャップイヤープログラム奨学金	その他	新1年生は本学入学決定次第随時 2年生から4年生も対象	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	イギリスのギャップイヤーという慣習的制度の考え方を取り入れたプログラム、1～2年次の履修をヨーロッパでの自主的行動にあてます。学生が自分の能力や適性を知り、教養では得られない「実務」を経験する機会を提供します。 【内容】 ヨーロッパ(研修・観学、企業訪問、ボランティア活動等)、ヨーロッパ(研修前後)国内研修。 【期間】 6月上旬～8月下旬(内、約70日間) 【資格】 選考時点で授業料等が完納済みであること アジア圏以外に留学し、1年以上 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	ヨーロッパ(研修開始地までの往復航空運賃、ユーレールチケット(バス(ヨーロッパ(鉄道)バス)代、電光研修開始後日帰り及び最終日のホテル宿泊費、現地交通費、現地ユースホステル宿泊費) 合計 約450,000円	1年間10名程度	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可		
	フロリアスビジットプログラム奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	英国、カナダ、中国での大学附属の語学学校にて語学を集中的に学ぶプログラムです。 【内容】 スプリング(語学研修)／英国 13週間・カナダ 13週間、中国 17週間 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ①各学期に所属する2年次から4年次の正規学生であること ②入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③英語及び中国語はTOEFL200以上、中国語はHSK2級の合格があること ④選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨学金】 英 国 マンチェスター大学 カナダ クイーンズ大学、マギル大学、アルバータ大学 中 国 北京外語語学大学	給付奨学金	留学先授業料、往復航空運賃 合計: 英国・カナダ 約700,000円 / 中国 約 300,000円	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	国際ボランティアプロジェクト奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	世界30ヶ国(政庁中心)を舞台に、各都府から集まった若者ととも生活しながら、環境保護、建設、修復、社会福祉等、地球社会発展のためにボランティア活動に参加します。 【内容】 異文化理解・交流、地域社会奉仕を目的としたボランティア活動 【期間】 7月下旬～8月上旬(内、4週間) 2月初旬～2月下旬(内、4週間) 【申込】 「国際ボランティア論」と「国際ボランティア実践」で合計2単位を卒業要件として認定します。レポートによる評価で判断されます。 以下の条件を全て満たしていること。 ①参加学期の前二学期の学修成績(前学期平均ポイント)が1.80以上(2年次以上) ②参加学期の前二学期の平均出席率が95%以上(2年次以上) ③プログラム参加の志願者に合格した者 ④国際ボランティア論の単位取得者とし(は履修中の学生 ⑤選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	渡航往復航空運賃相当額(上限15万円)	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	(入試)成績優秀者奨学金※4年間最大360万円給費	その他	一般選抜前期出願締切:1月下旬(自動エントリー)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2024年度の下記試験区分合格者を対象に支給を行うもので、エントリー等の事前手続きは必要ありません。 一般入試A→一般入試B・共通テストプラス(共通テスト利用前期)	給付奨学金	給費額 1種 90万円/年額 2種 60万円/年額 3種 30万円/年額 試験の結果により奨学金を給費いたします。	4年間(奨学金の給費は学期毎に実施され、その継続に一定の条件があります。したがって、奨学金給付対象者が卒業成績、出席率などの要件を満たさない場合は奨学金の支給を停止する可能性があります。)	地域・制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可		
特別奨学生入試※4年間最大360万円給費	その他	出願期間:11/15(水)～12/4(日)※自動エントリー	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨励生・全学部対象	給付奨学金	給費額 1種 90万円/年額 2種 60万円/年額 3種 30万円/年額 試験の結果により奨学金を給費いたします。	地域・制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可				
南山大学	南山大学随時奨学金	在学中	全学年	学費支援	本学の大学院または学部在学中、学費納入が困難でかつ品行方正かつ学業成績が平均水準以上の者、または、家計支援者の死、病産その他の事由により家計状況が急に変化した者、全学年が対象であり、採用期間は、原則1学期以内、本人の申請に基づき、採用が決定次第、一括で支給する。	貸与奨学金	当該学期の授業料、教育充実費/施設設備費、LL実習費(実来学科)相当額	原則1学期以内	各学期50名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	南山大学の音楽給付奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、進考にあたっては地域性も考慮する。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	30名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	南山大学給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	50名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	南山大学の会給付奨学金	在学中	1年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、1年次生対象。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	22名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	南山大学奨励奨学金(学業成績)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学業成績が特に優秀な者(当該年度学部長表彰対象者の中から前年度の学業成績に基づいて選考)、年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	200,000円	一括支給	32名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	南山大学奨励奨学金(学術・文化・スポーツ)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学術・文化・スポーツ分野において特に顕著な成果を上げた個人または団体(前年度学部長表彰対象者の中から選考)、年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	個人 300,000円 団体500,000円	一括支給	制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	南山大学創立50周年記念奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	日本学生支援機構奨学金(緊急採用/応急採用)に前年度本学より推薦された学部学生または南山大学特待奨学金を前年度に貸与された学部学生。一定の成績を収めており、困難度の高い者、年度ごとに選考を実施。9月下旬に一括で支給する。	給付奨学金	第1種 700,000円 第2種 350,000円	一括支給	1種 2名 第2種 6名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	神倉会奨学生奨学金	在学中	全学年	入学金・授業料減免	神倉会に属する特待・特待生・修道士が対象。学生納入金減免申請書の提出により、在学期間中減免される。	給付奨学金	入学金、授業料、教育充実費/施設設備費、LL実習費(実来学科)相当額	在学期間中	制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	留学給付奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(文徳留学・認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学費奨学金と併用可能。	給付奨学金	300,000円または500,000円(ただし、500,000円は特別な事情がある場合のみ)	一括支給	20名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可	
	留学奨励奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(文徳留学・認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学費奨学金と併用可能。	給付奨学金	交換留学は1学期あたり100,000円、認定留学は1学期(※)あたり150,000円※3ヶ月以上8ヶ月未満を1学期として算出	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可	
留学費与奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(文徳留学・認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者かつ定められた期限内に返還できる者。留学給付奨学金および留学奨励奨学金と併用可能。	貸与奨学金	300,000円、500,000円または1,000,000円	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可		
日本福祉大学	強化型定期奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学部: 本学通学学部全て 対象入試: 編入学試験を除くいずれかの試験 申請資格: 編入入学試験を除く、いずれかの入学試験に出願した者で、高い目的意識や学業意欲があり、入学金に特別強化型定期「強化奨励奨励」入金を希望する者	免除・減免	4年間の授業料 半額減免	減免期間は、4年間とする。ただし、半額以上に減免継続の可否を判定する。	年度ごとに採用人数を決定する	地域の制限なし	スポーツ・文化振興課、学生課	併用可	併用可	
	社会福祉学部スカラシップ入学試験	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学部: 社会福祉学部 一般入学試験(前期日程方式(教科免除))とセットで出願 合格者は、通常の入学手続きを経て「特別枠」で入学する。 スカラシップ入学試験が不合格でも、一定以上の成績の場合は一般入学試験(前期試験)合格の権利が保たれる。	免除・減免	授業料の半額を4年間減免。入学金半額減免。	減免期間は、4年間とする。ただし、年度ごとに減免の可否を判定する。	定員20名	地域の制限なし	入学広報課、奨励事務室、学生課	併用可	併用可	
	私費外国人留学生学費減免	在学中	1年生～4年生、在学中4回まで申請可能	学費支援	外国籍を有し、出入国管理及び難民認定法に基づき在留資格「留学」を有する者が対象。 1年次は入学金および前・後期の授業料の50%相当額を減免。 2年次～4年次は前年度の修得単位数と成績により減免率を決定する。	免除・減免	前年度成績に応じて0%～65%減免	在学中4回まで申請が可能	人数制限なし	地域の制限なし	学生課、国際課	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
藤田医科大学	中学校入藤田学園奨学金貸付制度	その他	在学中、毎年1月15日～2月15日に翌年度分の申し込みを行う	学費支援		1 対象学部・対象学年 医学部は2年～6年 医療科学部・保健衛生学部は2年～4年 2 資格・条件 本学でのうち、経済的理由により、修学が困難となった学生のうち、品行方正、学業成績優秀にして他の学生の模範と認められる者に、授業料の全額、又は奨学金貸付委員会が決定した金額を支給する。卒業後返還(無利息)の義務がある。返還の期間は原則として学部・学校の定める修業年度以内とするが、医学部医学科の返還年については15年以内とする。 申込は前年度に行い、翌年度より支給となる。	授業料の全額、又は奨学金貸付委員会が決定した金額		1年間、引続き支給を希望する場合は改めて問い合わせる		地域の制限なし		併用可	併用可		
	藤田学園同窓会奨学金貸付制度	その他	6ヵ月以上在学している学生で、毎年10月1日より10月31日まで翌年度分の申請を行う。	学費支援		1 申請対象学部・申請対象学年 医学部は2年～6年生、医療科学部・保健衛生学部は2年生～4年生とする。 2 資格・条件 本学でのうち、志願理由、品行方正、向学心旺盛にして経済的理由により修学困難な者に、貸与する。卒業後10年以内へ返還(無利息)の義務がある。申込は前年度に行い、翌年度より支給となる。	貸与奨学金	19万円または16万円(事情によりその限りではない)	1年間(引続き支給を希望する場合は改めて問い合わせる)		地域の制限なし		併用可	併用可		
	成績優秀者奨学金制度	その他	以下の各年のいずれにも該当する者を奨学金貸付の対象者とす。一般入試試験(前期)【愛知県地域枠を除く】で入学した10名。上記とは別に2年修了時に申請手続きをこなした成績上位5名。	特待生・成績優秀者 学費支援		1 対象学部・対象学年 医学部の1年生～6年生 2 資格・条件 本学医学部学生で成績優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、勉学意欲の向上および本学の発展に資する優秀な人材を輩出することを目的としている。本学卒業後、本学が指定した海外研修施設で研修の機会に一定期間貸与すること。その返還が免除される。 貸与対象者は以下とする。 一般入試試験(前期)【愛知県地域枠を除く】で入学した10名。 上記とは別に2年修了時に申請手続きをこなした成績上位5名。 貸与条件は以下とする。 ①成績が優秀な成績者、並びに本学大学院などで医師の業務に従事する意欲のある者。 ②年および4年の修了時に成績上位1/3以内に入っていることが継続の条件(ただし、各学年の修了時に奨学生としての適性を欠くと判断された場合は奨学金の貸与を中止する場合があります)。 ③貸与金額は以下のとおりである。 入学期成績上位5名の貸与は10名、貸与金額は年額150万円、貸与期間は6年間。 入学期成績上位5名以外の貸与は10名、貸与金額は年額150万円、貸与期間は4年間。	貸与奨学金			地域の制限なし		併用可	併用可			
	藤田医科大学卒業助成奨学金給付制度	その他	2年以上の4月当初(対象者は次年度に修正)審査を行い、対象者のみに支給の意思がある場合を行う。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1 対象学部・対象学年 医療科学部・保健衛生学部の2年生～4年生 ※令和4年度以降の入学者と令和3年度以前の入学者では条件が異なります。 2 資格 奨学金を給付する年度の前年度となる第1学年から第3学年までのそれぞれの1ヵ年を通じ、無欠席で、学業・人物ともに優秀な学生の中から教授会で選出し、学部長の推薦に基づき学長が決定し、協賛会で取り決めて支給となる。 3 条件 ①<令和3年度以前の入学生> (対象の在籍学生時点でこちらの条件は適用) 奨学金給付対象学生として選考可能な人数は、各学部の各学科又は各専攻における各学年の在籍学生の5%以内(但し最低5人)となる。 ②<令和4年度の入学生以降> 奨学金給付対象学生として選考可能な人数は、選考基準を満たす者のうち各学部の各学科又は専攻における各学年の在籍学生の3%に相当する人数(小数以下は切り上げ)以内とする。	給付奨学金	①3条件①成績優秀者1名のみ年額30万円、他の対象者は年額10万円 ①3条件②年額30万円	1年間(翌年度条件にまたがれば再給付も可能です。)	①3条件①各学年の在籍学生の8%以内(但し最低5人)となる人数 ①3条件②各学年の在籍学生の3%に相当する人数	地域の制限なし		併用可	併用可		
名城大学	入試成績優秀奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者		一般選抜(A方式)において、各学部成績上位の合格者(対象者約400名/年)の内、入学した者 ※対象者には、入方式合格通知書にてお知らせします。	給付奨学金	授業料年額の1/2	入学年度のみ対象	対象者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可			
	学業優秀奨励制度	在学中	新3年生、推薦型	特待生・成績優秀者		新3年生で、2年次までの学業成績および人物優秀者(奨学金は新3年次まで、4年次までの学業成績および人物優秀者) 成績基準: 次の1)および2)に該当する者 (1)2年次までに2単位以上(専攻および学員に関する授業科目、自由科目を除く。)を、修得している者 専攻別4年次までに10単位以上を、修得している者 (2)履修登録科目の平均点が90点以上の者	その他	3万円相当の金品		260人	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可			
	学業優秀奨学生	在学中	新4年生、推薦型	特待生・成績優秀者		新4年生で、3年次までの学業成績および人物優秀者 成績基準: 次の1)および2)に該当する者 (1)3年次までに10単位以上(専攻および学員に関する授業科目、自由科目を除く。)を、修得している者、卒業見込みの者(奨学金を除く) (2)履修登録科目の平均点が90点以上の者	給付奨学金	授業料年額の1/2			各学科で1人(薬学科12人)	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	専学補助奨学生	在学中	随時	学費支援		学生、卒業生でまたた支援(学費負担)の死、疾病、失業(自己都合を除く)、または、火災、風水害等の被害により家が焼失し、修学の意思があるにもかかわらず、経済的に支障が生じた学生、(保証人の子、家族、同居一世等の前年度所得合計額(学費負担者を除く)が別表による控除後の合計額が500万円以下とする。ただし、事業所得者の前年所得合計額がマックスの場合は、0円として計算する) 成績基準: 学業成績があり、学業を継続して健康に専らせる見込みがあること。	給付奨学金	年額一律30万円			該当する者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	料子補助奨学生	在学中		その他		経済的理由により、本学で履修する前年(3年次以降)の教育ローンを利用した者	給付奨学金		当該年度までの学費を賄えるとする借入額の支払利率に、教育ローン利用者の年収に応じた給付率(50%または100%)を乗じた額		該当する者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	大規模自然災害経済支援奨学生	在学中				災害救助法が適用された(または外務省による国際緊急援助が行われた)大規模自然災害により家が焼失し、修学が困難になった学生および入学試験出願者	給付奨学金	授業料・実務教育費・施設費の年額、または年額の1/2、入学試験出願者については、加入して入学決定料、入学金の全額。			該当する者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	社会人学生奨学生	入学後	在学中も毎年申請が必要	入学金・授業料減免		社会人入学試験により入学した新3年生	給付・減免	授業料および 実務実習年額の1/2			該当する者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	本学卒業補助奨学生	入学手続き時		入学金・授業料減免		①1学年で指定科目、他の学部へ入学する者 ②1学年で指定科目以外で修業ののみ、卒業入学者の者	給付奨学金	入学金の額			該当する者全員	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可		
	校友会奨学生	在学中			特待生・成績優秀者		人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者	給付奨学金	校友会が決定		校友会が指定	名城大学校友会	併用可	併用可		
	私費留学生・留学生A奨学生	在学中			留費用支援制度		在留資格が「留学」の私費外国人留學生	給付奨学金	授業料年額の3/10		該当者	国際化推進センター	併用可	併用可		
	派遣交換留学奨学生	在学中			留費用支援制度		海外協定校との交換留学制度に基づく留学を認められた者で人物・学業成績優秀者、または各専攻当学部の語学能力検定試験高得点取得者。 留学期間が6ヵ月以上1年以上を対象とする。留学期間が3ヵ月未満の場合は海外研修生員として取り扱う。	給付奨学金			該当者	国際化推進センター	併用可	併用可		
	海外研修奨学生	在学中			留費用支援制度		本大学の大学間学術交流協定(条件を満たす学部または研究科間を含む)に基づき海外研修者で、研修期間が90日以上となる者。ただし、人間学部の海外研修は除く。	給付奨学金	5万円		該当者	所属学部	併用可	併用可		
	海外英語研修派遣支援A奨学生	在学中			留費用支援制度		国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者	給付奨学金	20万円または研修費用総額の1/2のいずれか少ない額		毎年180人以内	国際化推進センター	併用可	併用可		
	海外英語研修派遣支援B奨学生	在学中			留費用支援制度		国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間学術交流協定校(条件を満たす学部または研究科間を含む。)または国際化推進センターによる認定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	給付奨学金	5万円		該当者	国際化推進センター	併用可	併用可		
豊橋創造大学	豊橋創造大学授業料減免制度	その他	各学期はじめ	入学金・授業料減免		大学が、経済事情の悪化で学費の納付が困難になった者(在学中に返上で適用)し、前2年度入学生まで利用可能。	免除・減免	半期分の授業料が減免される 軽減率 学部 340,000円、保健医療学部 400,000円		①1年間 ②1回限り	①人数制限なし	地域の制限なし	教育学部学生課	併用可	併用可	
	中学校入藤田学園奨学金貸付制度	在学中	2年生以上年度はじめ	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		2年次以降に前年度の学業成績が所属する学科の順位上位5%以内である者	免除・減免	各学部学科ごと、前年の授業料の半額を減免する			①各学部学科の成績上位5%以内	地域の制限なし	教育学部学生課	併用可	併用可	
	豊橋創造大学スカラシップ奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		スカラシップ50で合格し入学した学生が、2年次以降前年度の学業成績(GPA)が学内基準に満たすもの	免除・減免	学納金の50%を減免			学年10名程度	地域の制限なし	教育学部学生課	併用可	併用可	
	特別奨学生試験制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		在学4年間 人文科学部・文学部 特別奨学生試験を受験して成績が優秀な方(特別奨学生として合格した者) 2年次以降は、前年度の学業成績・出席状況の審査有り。	給付奨学金	入学金+4年間の授業料の総額3,320,000円		毎年審査	5名以内	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
愛知文教大学	ABU特待生奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1年次・2年次別選考 人文科学部・文学部 一般入試(前期)【数学科・3数科型】と一般入試(後期)の合格者のうち、入試結果および出身高等学校での学業成績や運動技能が優秀な方	給付奨学金	授業料半額380,000円		2年間(2年次への継続にあり要審査)		地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	特待生奨学金制度	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		2～4年 人文科学部・文学部 前学期の学習成績により選抜します	給付奨学金	授業料の一部		1年間	年間18名以内	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	条件有り併用可	
	留費用奨学金制度	学校出願時		留費用支援制度		人文科学部・文学部 2～4年 本学の留学プログラムを利用し半年以上留學した者	給付奨学金	留学中の本学授業料64分の免除		留学期間中	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	指定校奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1年次・2年次 人文科学部・文学部	給付奨学金	授業料半額380,000円		2年間(2年次への継続にあり要審査)		地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	桜花学園大学	中学校入桜花学園奨学金	在学中	全学年	学費支援		1. 入学後(経済的理由により修学困難となった者で、かつ、その理由を明らかにできる者 2. 卒業できる見込みが確実な者	給付奨学金	原則として授業料相当額を支給する。		支給開始から卒業まで	地域の制限なし	学務部・学生課	併用可	併用可	
	ドリームサポート	その他	受験時		特待生・成績優秀者		一般1・2(本学入学推薦テスト利用)を受験した者のうち、得点率50%以上の成績上位30名を対象に年間70万円を給付。 2年次以降、各学科内の成績が上位40%以内の学生は継続して給付を受けられ、最長で卒業までの期間。	給付奨学金	年間70万円		修業年限まで	一般1・2と入学推薦テスト利用1を受験した方のうち、得点率50%以上の成績上位30名を対象。	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
ドリームサポートS	その他	受験時		特待生・成績優秀者		単願選抜試験(さくら選抜、自己推薦、同窓、指定校推薦、グローバル、キャリアデザイン特選型、桜花学園高等学校推薦)合格者のうち、特別奨学生選抜テストの得点率50%以上の成績上位5名を対象。 年間70万円を給付し、2年次以降は各学科での成績が上位40%以内の学生は継続して給付を受けることができる。	給付奨学金	年間70万円		修業年限まで	単願選抜試験(さくら選抜、自己推薦、同窓、指定校推薦、グローバル、キャリアデザイン特選型、桜花学園高等学校推薦)合格者のうち、特別奨学生選抜テストの得点率50%以上の成績上位5名。	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
名古屋文理大学	一般選抜一般入試(前期)3科目型、2科目型成績上位者奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		一般選抜一般入試(前期)3科目型、2科目型の成績上位者 人数 各学科若干名	免除・減免	1年次授業料半額を奨学金として付与。			地域の制限なし		併用可	併用可		
	一般選抜大学入学共通テスト利用入試(前期)3科目型、2科目型成績上位者奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		(3科目型) 合格者のうち成績得点(310点満点)得点210点以上の者 人数 対象者全員 (2科目型) 合格者のうち成績得点(210点満点)得点150点以上の者 人数 対象者全員	免除・減免	4年間施設設備費を奨学金として付与。(スポーツ奨学生の条件を満たしていること1年毎に審査します。)			地域の制限なし		併用可	併用可		
	総合型選抜高大接続入試スポーツ奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		スポーツで優れた活動成績を有し、入学後も本学でその活動発展が期待できる者 募集定数を要する者 人数 最大接続入試として健康実習学科(1名)、フットボール学科(若干名)、情報メディア学科(若干名)	免除・減免	1年次授業料の半額を奨学金として付与。			地域の制限なし		併用可	併用可		
	総合型選抜高大接続入試専門課程生徒対象奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学での学業を強く希望する専門学科および総合学科生徒を対象とした入試で次の条件を満たす者 ・高等学校の職業教育を主とする学科または総合学科を専らに卒業した者、および該当年度に卒業見込みの者 ・出身校が職業系の専修学校(専修学校) 90以上の者 ・本学の教育理念を理解し、入学を専断希望する者 採用人数 最大接続入試として各学科(若干名)	免除・減免	1年次授業料の半額を付与			地域の制限なし		併用可	併用可		
	名古屋文理大学奨学制度(第一種)	在学中	3年生～4年生	学費支援		本学に在学する人物・学業ともに優れた、経済的理由により修学が困難な学生。 対象人数 各学科3.4年次若干名	給付奨学金	年間300,000円を付与		1年間	若干名	地域の制限なし	教育学課	併用不可	併用可	
	名古屋文理大学奨学制度(第二種)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		学業成績優秀者(原則として所属する学科の前年度までのGPA第1位、第2位) 採用人数 各学科2.3.4年次生、各2名	給付奨学金	年間300,000円を付与		1年間	18名	地域の制限なし	教育学課	併用可	併用可	
	名古屋文理大学奨学制度(第三種)	在学中	1年生～4年生	その他		正課教育及び課外活動等において特に活躍が認められ、他の学生の模範となると認められた者。 採用人数 全学科・学年で各1名	給付奨学金	年間200,000円		1年間	1名	地域の制限なし	教育学課	併用可	併用可	
	総合型選抜高大接続入試ワークショップ参加型奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学科: フットボール学科、情報メディア学科 条件: 本学のワークショップに参加した者	免除・減免	1年次前期授業料に入学金相当額(200,000円)を奨学金として付与。				地域の制限なし		併用可	併用可	
	総合型選抜高大接続入試資格取得型奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学科: フットボール学科、情報メディア学科 資格: 本学募集要項にて学科別に規定する資格に合格した者	免除・減免	1年次前期授業料に入学金相当額(200,000円)を奨学金として付与				地域の制限なし		併用可	併用可	
	授業料免除制度	在学中	全学年(1年生及び2年次編入生は後期より)	入学金・授業料減免		経済的理由により授業料の納付が困難で、本学が定める要件や基準に該当するもの	免除・減免	授業料の半額		半期	対象者全員	地域の制限なし	学務課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	学務奨学金制度	その他	申請はなし、各学科の学部長からの推薦による	特待生・成績優秀者		学業成績が極めて優秀で、人物も優れた者	給付奨学金	3万円		一度のみ	各学科の各学年より2名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
	ファミリー奨学金制度	その他	入学手続き時及び入学後	用途を定めない経済的支援		本学卒業生の子弟及び在学生の兄弟・姉妹が入学した場合	給付奨学金	10万円		入学のみ	入学者全員	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
	教育ローン料子補助奨学金制度	在学中	全学年 12月上旬		学費支援		学生の保護者などが金融機関の教育ローンから融資を受けている者	給付奨学金	当該年度に納入する学納金に対して借付した教育ローンに保護者等が支払った料子相当額		年に1度(月次で支給)	対象者全員	地域の制限なし	学務課	併用不可	併用不可
	大学入学共通テスト利用奨学金制度	その他			入学金・授業料減免		入学前・大学入学共通テストにおいて、本学の入学推薦科目のうち、数学、理科のいずれかが70点以上の者 入学後 上記条件のうち、1年次前期の成績や出席状況などが学内基準を満たす者は、1年次後期の授業料を給付	免除・減免	授業料(42万円)		1年間(ただし、後期は成績による判定を行い、該当する者のみ支給)	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	条件有り併用可	条件有り併用可
指定校特別奨学金制度	その他		指定校選抜試験合格後、大学割付料なし指定	入学金・授業料減免		指定校推薦入学試験の合格者のうち、全体の評定平均が3以上の子	免除・減免	10万円			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
女子特別奨学金制度	学校出願時			入学金・授業料減免		モテづ(に)興味があり、本学で勉強したいという強い意志のある女子で、総合型選抜(女子特別)での合格者。	免除・減免	入学金から10万円		1回限り	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
名古屋産業大学	学業特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般選抜、大学入学共通テスト利用で優秀な成績を取った方。 授業料1/2もしくは1/4免除。	免除・減免	授業料1/2もしくは1/4	入学試験(一般選抜、大学入学共通テスト利用)	一定数	地域の制限なし	入試広報室	併用可	併用不可
愛知東邦大学	東邦STEP奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者		対象:1年～4年生 学部:全学部 資格:東邦STEP受講生	給付奨学金	所属学部の授業料+東邦STEP受講料	1年間	各学年10名以内	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	スポーツ・音楽推薦特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象:1～4年生 学部:全学部 条件:スポーツ・音楽推薦入試の合格	免除・減免	A:入学金、授業料、教育充実費、施設設備費の免除 B:入学金、教育充実費、施設設備費の免除 C:施設設備費の免除	4年間(※継続審査あり)	人数制限なし	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	TOHO Learning House奨学金	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度		対象:1年～4年生 学部:全学部 資格:TOHO Learning Houseのゲストハウス運営において、実生の中でリーダーシップを発揮し、企画・運営に取り組む学生	給付奨学金	年間10万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	B特待生制度	在学中	2年生以上の各学年	特待生・成績優秀者		B特待生 2年生以上は各学年で前年度の成績が10位以内の者にに対し、面接選考の上、総合評価が上位である5名を選定し、当該年度1年間授業料の後期分を免除する。 ※対象者になるための選考条件あり。 ※選定後の資格喪失条件あり。	免除・減免	B特待生 年間授業料の後期分 60万円(2年次・4年次)	後期	5名	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可
同済女子大学	A特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		入学試験成績上位者	免除・減免	年間120万円(入学年度の年間授業料全学を免除)	①1年間 ②1回限り	5名以内	地域の制限なし	企画・地域交流課	併用可	併用可
	愛知県外出身者支援奨学金制度	入学手続時		用途を定めない経済的支援		①大学の入学試験(社会人入試、協力企業特別推薦入試は除く)に合格し、入学した者 ②愛知県外(国内)の高等学校または中等教育学校をいずれも通修制を除く卒業した者 ③本人と生計を同じくする父および母(父および母がいらない場合は代わりに生計を支えている者)が愛知県外に居住し、入学後は自宅外(下宿)または自宅外の専ら通学する者 ④上記父母等の、最新の「所得証明書」(市町村発行のもの)記載の収入・所得金額を合算した金額が下記に該当する者 ⑤父・年金収入金額(課税額)140万円未満 ⑥その他、事業所得金額:350万円未満	給付奨学金	年間24万円	4月と12月に給付金額の半額ずつ	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	特別奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		2年～4年生 通算GPA上位者から選考する。	免除・減免	授業料の半額を免除	1年間	若干名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
	奨学生S	学校出願時		入学金・授業料減免		大学入学共通テスト利用入試1期の成績上位者5名	免除・減免	入学から4年間授業料半額免除	4年間	5名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
名古屋柳城女子大学	特別給付奨学金1年次奨励奨学生	その他	1年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		こども学部こども学科に在学する学生で1年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 1年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	1年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金2年次奨励奨学生	その他	2年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		こども学部こども学科に在学する学生で2年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 2年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	2年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金3年次奨励奨学生	その他	3年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		こども学部こども学科に在学する学生で3年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 3年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	3年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金4年次奨励奨学生	その他	4年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		こども学部こども学科に在学する学生で4年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 4年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	4年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金緊急奨学生	在学中	1年次から4年次	学費支援		こども学部こども学科に在学する学生 主たる家計支持者の失業、病気、事故、喪失等により家計が急変し、修学が困難となった者で、かつ1年次においては1年次前期の学期末累積GPA 2年次から4年次においては前年度の学年末累積GPAの順位がそれぞれ上位3分の1以内の者 申請は、在学中であれば家計急変事由発生日から12ヶ月以内で随時 在学期間中、緊急奨学生の称号は1回のみ	給付奨学金	当該年度の授業料半額相当額	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可
	特別給付奨学金就学支援奨学生	在学中	1年次から4年次	学費支援		こども学部こども学科に在学する学生で学業成績が優秀かつ同学の意志のある者で、各学年における前年の学期末累積GPA順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者で家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する 在学期間中、就学支援奨学生の重ねての採用を制限しない	給付奨学金	年間12万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可
	特別給付奨学金特別活動奨励奨学生	在学中	1年次から4年次	課外活動支援制度		こども学部こども学科に在学している学生で学外における活動で顕著な成績を上げた者と認められる者 他の学生の模範となること(他学部別の推薦を要し、在学期間中、特別活動奨励奨学生の重ねての採用を制限しない)	給付奨学金	3万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	マーガレット・ヤング奨学金	在学中	1年次から4年次	学費支援		こども学部こども学科に在学する学生 学業成績が優秀かつ同学の意志のある者で、1年次においては高校在学時の学業成績評定平均値が9.5以上の者とする。2年次～4年次においてはそれぞれ前年度の学年末累積GPAの順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者。但し、家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する	給付奨学金	年間12万円	1年間	年間10名まで	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可